

IEICE 東京支部 CEATEC 2011 シンポジウム
2011年10月7日(金) 13:30-17:00 幕張メッセ 302 会議室

テーマ：新たな社会創出に資する M2M

ICT は、エネルギー、運輸、医療、農業などさまざまな分野を横断して支え、新しい産業を生む社会基盤となることを期待されています。なかでも近年、特に M2M(Machine to Machine)通信に関する技術が注目されています。

本シンポジウムでは、“M2M 通信技術”の社会的な役割を応用分野の視点から俯瞰し、次に、新たな社会基盤となるための課題についての議論を行います。

第一部では、まず、ヘルスケア分野におけるモバイルサービスについて、その実用例のご紹介と将来の M2M への期待についてご講演いただきます。引き続き、新世代 M2M コンソーシアムおよびブロードバンドワイヤレスフォーラムから、「公衆ネットワーク分野」「センサネットワーク分野」「ホームネットワーク分野」の各分野の第一線でご活躍されている方々をお招きし、現状の取り組み状況と、アプリケーションから見た M2M の課題についてお話をいただきます。

第二部では、新たな社会創出に向けて、「M2M 通信技術は今何をすべきか」、また、「真の社会基盤となるための課題は何か」について、パネルディスカッションを行います。

1. 第 1 部 講演の部 (13:30-15:35)

13:30-13:35 開会挨拶 新たな社会創出に資する M2M

森川 博之氏

電子情報通信学会 東京支部 支部長、東京大学 先端科学技術研究センター教授

13:35-14:05 “What does a patient do after he leaves the doctor’s office? We now know! Examples of the multi-award winning lifewatcher healthcare platform and expectations on the future of M2M technology.”

James Hiroshi Nakagawa – CEO & Chief Care Architect at Mobile Healthcare Inc.,

14:05-14:35 公衆ネットワーク分野における取組みと M2M の課題 (講演 25 分、質疑 5 分)

藤岡 雅宣氏

日本エリクソン株式会社 チーフ・テクノロジー・オフィサー

14:35-15:05 M2Mにおけるセンサネットワーク分野の取組みとクラウドの役割 (講演 25 分、質疑 5 分)

奥屋 滋氏

日本電気株式会社 キャリアサービス事業本部 副事業本部長

15:05 -15:35 ホームネットワーク分野における取組みと M2M の課題 (講演 25 分、質疑 5 分)

高橋 和晃氏

パナソニック株式会社 東京 R&D センター 通信コアデバイス開発センター 主幹技師

15:35-15:50 休憩

2. 第 2 部 パネルディスカッション (15:50-17:00)

15:50-16:05 (仮題) M2M に期待することと今後の課題

青山 友紀氏

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構教授、日本学会会議員

16:05-16:20 知識情報社会の実現と M2M

渡辺 克也氏

総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課長

16:20-17:00 パネルディスカッション

新たな社会創出に資する通信技術として、「M2M は今何をすべきか」、また、「真の社会基盤となるための課題は何か」

・座長

森川 博之氏（電子情報通信学会 東京支部 支部長、東京大学 先端科学技術研究センター教授）

・パネリスト

渡辺 克也氏（総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課長）

青山 友紀氏（慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構教授、日本学術会議会員）

藤岡 雅宣氏（日本エリクソン株式会社 チーフ・テクノロジー・オフィサー）

奥屋 滋氏（日本電気株式会社 キャリアサービス事業本部 副事業本部長）

高橋 和晃氏（パナソニック株式会社 東京 R&D センター 通信コアデバイス開発センター 主幹技師）

以上